

平成 24 年度下期 竹の台地域委員会総会議事録

- 1.開催日時 平成 24 年 10 月 14 日(日)10 時 00 分～12 時 00 分
- 2.開催場所 竹の台地域福祉センター2 階集会室
- 3.出席者 竹の台地域委員会 委員長ほか役員・委員 26 名(別に委任状提出者 9 名)

4.議事概要

中間期の総会であり、事業計画に対する進捗状況の審議が中心となったが、特段の意見・異論はなく承認された。

5.議事内容

定刻の午前 10 時 になり、水野副委員長の司会で始まり、定足数確認では、出席者 26 名、委任状提出者 9 名で、委員定数(全委員数 53 名)の過半数以上となり、総会が成立することが確認された。

(司会者) 開会に当たり、委員長から挨拶をいただく。

(委員長) 第 10 回目の記念となる「竹の台ふれあいまつり」を 10 月 7 日に竹の台小で開催した。委員各位のご協力に感謝申し上げます。また、このように長年開催できるのも小学校が地域との関係を尊重してくれるからこそであり、西馬校長をはじめ小学校関係者の皆様に感謝申し上げます。来年も継続して開催する予定なので、引き続きの協力をお願いしたい。

本日は、下期総会なので半年間の進捗状況の報告が主となる。盛りだくさんの事業の進捗を説明することになるが、活発な議論をお願いしたい。

(司会者) 本日は、学校の方から西馬校長にご出席いただいた。西神中の森川校長はあいにく所要のため欠席されたが、折角の機会でもあるので西馬校長からご挨拶をいただきたい。

(西馬校長) 竹の台ふれあいまつりは子供達の期待も大きい。下校時に「まつりに行きますか」と聞いたらほとんど生徒が「絶対行く」と言っていた。単に楽しむだけでなく、子供商店街のように子供達にも運営に参加する機会を提供してくれることは教育面からも大変ありがたい。10 回目のまつりだったが、今回は、まつりを体験して竹の台を巣立っていった青少年に、「ふるさとまつり」のようなものが開催できれば良いと考えている。

少子高齢化と言われて久しいが竹の台も同様である。実は、来年 1 年生となる児童対象に就学前健康診断を行ったが、対象は 42 名だった。例年だと 60 名程度が対象になるが、年々子供の人数が減っていることを危惧している。

この後、議長選出では、司会者が議長選出の一任を取り付けたところ、特に意見がなかったため、三島隆夫氏(ふれまち協福祉部長)を推薦し拍手で承認された。

(議長) それでは、議案の審議を始めます。まず、第 1 号議案の「平成 24 年度中間期事業

報告」については、報告事項の(ア)から(エ)も関係するので、両者合わせて報告願いたい。

(絹川部会長) <資料に基づき、平成 24 年度中間期事業報告を行う。なお、報告事項の(ア)及び(イ)については、水野副委員長が行う>

議案説明の後で、地域委員会に出席した一般住民(竹の台地域委員会規約で総会への一般住民の参加を認めている)の中から、過日のふれあいまつりで、国際交流ブースを出店した国際交流部準備委員会の谷川代表が「謝辞を申し上げたい」との申し出があり、議長の許可を得て、谷川さんが委員各位に謝辞を申し述べた。

(議長) それでは、議案審議をお願いします。

<特段、意見がなかった>

(委員) 説明のあった、「落ち葉等の道路一斉清掃」については、このまま当日を迎えたらよいのか。

(水野) 雨天などで事情が変わらなければ説明した内容で進めて欲しい。

(議長) 他にご意見はございませんか。特段、意見がないようですので、第 1 号議案について承認していただける方は、拍手をお願いします。

<拍手多数。特段の異議なし>

(議長) 第 1 号議案は承認されたと認めます。

続いて、議案とも関連がありますので、資料に参考と書いてあります「竹の台地域委員会から自治会、管理組合等への依頼事項」と「車両衝突によるたけのパークの休業」について説明願います。

(森川) <資料に基づき、森川副委員長が各団体への依頼事項と下期の事業予定、車両衝突の概要について説明>

(議長) さきほどの説明で何かご意見はありますか。特段、意見がないようですので了解していただいたと認めます。

(議長) 以上で本日の審議は終了しましたが、折角の機会ですので、ご自由に発言願います。

(委員) NPO 法人の説明があったが、名称が「地域調整センター神戸」となっている。この「神戸」というのは竹の台というイメージから遊離しているように思えるが。

(絹川) NPO 法人の設立要件の中で、比較的広い活動範囲が求められている。狭くてもせいぜい西区を活動範囲としなければならない。竹の台地域委員会の活動は、竹の台以外では

できないが、NPO 法人の場合、竹の台以外の活動も可能になる。例えば、青色パトロールは、他地域から要請があれば出向くこともできる。地縁団体の良さと NPO 法人の良さを生かしたい。「神戸」としたのは、「神戸」が全国的なネームバリューがあることと、活動範囲を竹の台に限定しなかったためだ。

(委員) 了解。

(議長) 他にありませんか。

(委員) 「落ち葉等の道路一斉清掃」について、地域委員会の窓口はどなたか。また、全体の進め方がもう一つ良く分からない。

(水野) 窓口は私、水野です。一斉清掃に関する関連の資料を前任の方がお持ちと思う。一度、その方に確認して欲しい。分からなければ別途説明させていただく。

(国際交流部準備委員会谷川) さきほど謝辞を述べさせていただいたが、言い足りなかったことがあるので、もう一度発言したい。

(議長の許可を得て、再度、謝辞を申し述べる)

(議長) ありがとうございます。これで、本日の議事は全て終了しました。熱心なご審議に感謝申し上げます。

(司会) ありがとうございます。それでは、最後に寛委員長から挨拶をさせていただきます。

(寛委員長) 終始熱心な議論をありがとうございました。残る半年間で計画通り進めていきたいと考えていますので、委員各位のご支援をお願いしたい。これにて本日の総会を終了させていただきます。

以上

(添付資料)

・平成 24 年度下期総会議案書

(議事録署名)

西区竹の台 4 丁目 17-1

三島 隆夫 印(省略)

西区竹の台 5 丁目 11-3

寛 進 印(省略)